

保育の父・佐竹音次郎に学ぶ会 2018年度講演会

音次郎交流会

～音次郎と、私との出会い～

日時： 2018年5月10日（木）14:00～16:00

場所： 四万十市立 中央公民館 大会議室（1階）

♪ 会 次 第 ♪

進行：瀧澤 勝

(音次郎会事務局会計)

- 1 はじめのことば (山崎祥正 副会長)
- 2 会長挨拶 (浦田一雄 会長)
- 3 来賓祝辞 (中平正宏 四万十市市長)
- 4 佐竹音次郎の紹介
- 5 基調提案 「私の、音次郎との出会い」
提案者 小椋茂昭 (音次郎会委員)
- 6 交流提案 「それぞれの音次郎との出会い」
提案者① 浦田一雄 (同 会長)
提案者② 中平菊美 (同 副会長)
提案者③ 瀬戸雅弘 (同 事務局)
進行役 山崎祥正 (音次郎会 副会長)
「佐竹音次郎 福祉のこころ 宣言」
- 7 お知らせ (事務局 瀬戸雅弘)
- 8 閉会の辞 (中平菊美 副会長)

◆ 目次 ◆

提案者の紹介	2 p
佐竹音次郎の紹介	3 p
基調提案資料	5 p
写真資料	7 p
提案者③資料	12 p
会員募集、ホームページ紹介	14 p

主催 保育の父・佐竹音次郎に学ぶ会（通称：音次郎会）
後援 四万十市教育委員会

♪ 提案者人物紹介 ♪

基調提案者

おぐらしげあき
小椋茂昭

1940(S15)年西土佐奥屋内生まれ。2000(H12).3～2016(H28).3まで若草園の運営法人である社会福祉法人栄光会の2代目理事長として勤務する。在任中、若草園創立55年記念事業を手がけ、その時に継続的研修事業の1本柱として保育の父・佐竹音次郎を取り上げ、その後の音次郎会の礎を築く。また40歳より35年にわたって民生委員児童委員を務め、高知県の連合会長としても6年働く。現在、花嫁衣裳のおぐら社長。社会法人幡多福祉会・幡多希望の家 理事長。

音次郎会 委員。



提案者①

なかひらきくみ
中平菊美

1950(S25)年旧十和村生まれ。2002(H14)～2006(H18)年竹島小学校に校長として赴任。総合学習で佐竹音次郎と出会う。それ以来、自主的に音次郎の資料を精力的に収集し、研究を深める。2011(H23)年大用小学校長を最後に定年退職。2013(H25)年栄光会の継続的研修事業の音次郎紹介冊子編纂実行委員に加わる。2014(H26)保育の父・佐竹音次郎に学ぶ会準備会副会長に就任。現在、音次郎会副会長。



提案者②

うらたかずお
浦田一雄

1952(S27)年旧中村市京町、佐竹音次郎が宮村家から養子に出された佐竹家のすぐ近所で生まれる。慶應義塾大学卒後渡米しアメリカ在住30年以上。退職後、郷里へ戻り四万十市有岡在住。現在、夫人と共に具同にてディナズフレンズ英会話クラブを経営。音次郎会会長。



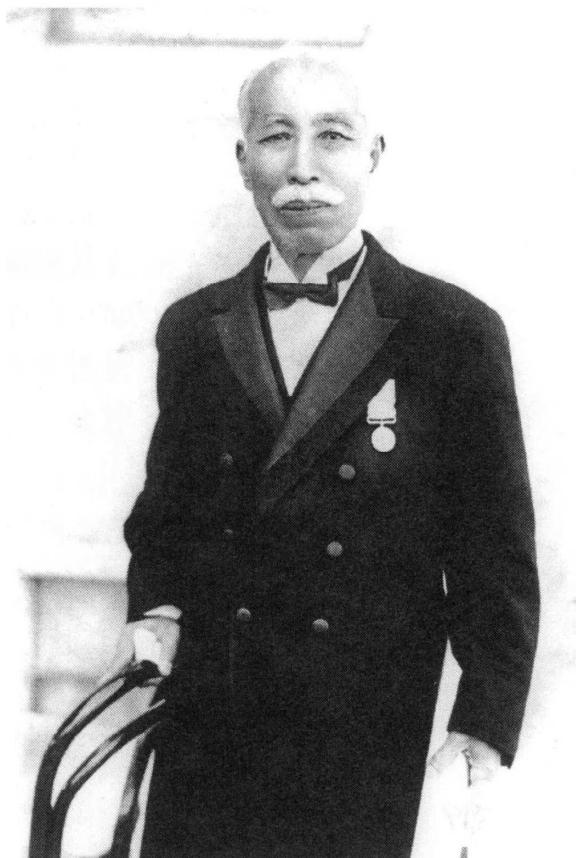
提案者③

せとまさひろ
瀬戸雅弘

1966(S41)年京都府生まれ。1987(S62)年土佐清水キリスト教会で洗礼を受ける。音次郎の事はクリスチャンの立場として興味を持っている。2007(H19)から若草園に在職中。現在、日本キリスト改革派宿毛教会役員。音次郎会事務局。



→さらに詳しい情報は音次郎会の
ホームページをご覧下さい！



藍受褒章を授与された音次郎

保育の父

佐竹音次郎 <さたけ おとじろう>

元治元年 1864.5.10 土佐国幡多郡下田村竹島に出生

昭和15年 1940.8.16 神奈川県鎌倉市佐助にて永眠

♪ 佐竹音次郎の紹介 ♪

保育という言葉が初めて日本で使われたのは1896(明治29)年のことです。当時、子供を養育する施設は孤児院と呼ばれていました。しかし、佐竹音次郎はその言葉を嫌いました。音次郎は生みの子も育ての子も分け隔て無く愛育するという「聖愛一路」の理念のもと、全ての子どもは愛児であり、保んじて育つようにと小児保育院と名付けました。その意味は、「たとえ自分のような者であっても、私がその子の親となるのだから、もはやその子は孤児ではない」との、音次郎のあつい気持ちの表れでした。

= 音次郎 経歴 =

1864(元治1)年、四万十市竹島に生まれ、地元の小学校教員を経て上京し、医学を志す。聖書を贈呈されたその頃からキリスト教に関心を持ち、のちに洗礼を受ける。1894(M27)年、神奈川県腰越で開業。下田から妻を迎えて、腰越医院に小児保育院を併設する。1905(M38)年、わが子らの死をきっかけに医業を廃して鎌倉小児保育園を設立して、児童養護に専念する。1913(大正2)年、中国に旅順支部を開設したのち、朝鮮、台湾にも事業を展開する。1920(T9)年、私財全部を提供して施設を財団法人化する。1940(昭和15)年、鎌倉の地にて永眠。1966(S41)年、音次郎の後継者が現在下田にある若草園を鎌倉保育園中村支部とし、29年6ヵ月その運営を支えた。

～音次郎年譜～

1864(元治1)年～ 旧下田村竹島に出生

地元の小学校教員を経て上京し、医学を志す。

1894(M27)年～ 神奈川県腰越で開業。鍋島出身の妻を迎えて、腰越医院に小児保育院を併設する。

1905(M38)年～ わが子らの死をきっかけに医業を廃して鎌倉小児保育園を設立して、児童養護に専念する。

1913(T 2)年～ 中国に旅順支部を開設したのち、朝鮮、台湾にも事業を展開する。

1920(T 9)年～ 私財全部を提供して施設を財団法人化する

1940(S15)年～ 鎌倉の地にて永眠

1966(S41)年～ 音次郎の後継者が現在下田にある若草園の運営を約 30年支えた。

2015(H27)年 生誕151年の日に郷土にて「保育の父・佐竹音次郎に学ぶ会」が設立。

基調提案「私の、音次郎との出会い」 ～ 資料 ～

注記：「cf.7p」などの表示は「写真資料の5pに関連資料がある」との意味

☆ 自己紹介

1940(S15).4 西土佐村奥屋内にて8人兄弟姉妹の4番目として生まれる
1940(S15).8.16 音次郎没 人生が4カ月12日重なる
戦争を知る数少ない1人、B29の飛来を肉眼で見る
1946(S21)終戦の翌年 小学一年生（かばん・わら草履・みの・かさで通学）
診療所は大宮まで4時間～背中で冷たくなっていた長女
1955(S30)中学卒業、炭焼きと百姓に、小作は4：6、1年13カ月盆正月に利払い
牛の飼い出し、子牛から役牛、差額は親分 プロパンの時代～木炭の検査員に
育まれた地域交流＝回覧、夜とぎ、もらい風呂、夜学、生活記録、青年団、
民主青年同盟、民主商工会など
1966(S41)26歳から中村での生活

☆ 若草園との出会い

1968(S43)佐岡橋左岸のガソリンスタンドで働く（集金係）
1957(S32)年、若草園が東山役場あとに開設されていた cf.7p
1969(S44)若草園の移転問題、30周年記念誌から読み取る当時の苦労 cf.7p
→月の友のリーダーから竹島地区への移転を猛反対していると聞く
西初代園長を知る人も少なくなった～らくだ色の毛布を買って頂いた
伊豆良子さん（若草園主任保育士、初期からの職員 cf.7p）大月出身、博愛園
に就職。その後、若草園開設に向けて転勤、結婚。井沢地区でご近所であった。

☆ 佐竹音次郎との出会い

1988(S63)伊豆良子さんから若草園の西園長、職員、子供の様子を聞く。その中で「佐竹
音次郎」の事を知る。 cf.8p
『若草園創立30周年記念誌』には伊豆さんの思いが生々しく、音次郎の事と合
わせて記録されている。 ※『白き雲』（伊豆良子 遺詠追悼歌文集）にも収録されている。
あゆみ共同作業の活動を通して、渥美さんとの出会い
→そこでもまた音次郎の事を伺う
竹島小学校「開かれた学校づくり」の会の中で、竹島保育所の井上保母が「日
本で初めて保育という言葉を使った佐竹音次郎の出身地・竹島で働くことを
誇りに思う」との発言を聞く。

☆ 「保育の父・佐竹音次郎に学ぶ会」の設立に向けて

2000(H12)社会福祉法人栄光会理事長に就任 cf.9p

若草園の歴代理事長

- ・宮村正明氏（幡多信用金庫理事長） ※正式な肩書きは鎌倉保育園中村支部長
- ・竹本治氏（病院長、西土佐出身で津大出身者にとって特別な存在） ※同上
- ・広井康延氏（校長先生） ※1996(H8)栄光会が発足し初代理事長に広井氏が就任
その後、無名の小椋が引き継ぐ

環境整備（くみ取り式トイレを水洗に、スチールサッシをアルミサッシへ、鬱蒼とした樹木をシルバー人材センターにて切り払い「海があった」と子供達）

施設長交代 若草園の集いを開催約100名参加

理事長として現場を知る方法として職員会への参加

職員が地域とつながるきっかけは子供の事でお店にお断りに行く時

2003(H15)園長と協議して若草園後援会を設置～のちに若草園を支える会へと発展

2005(H17)アドラムの家（小規模グループホーム）を教訓に小規模グループケアへと移行
園舎建て替え、落成

2012(H24)慌ただしい理事長職を振り返り、就任来を振り返り「若草園創立55年記念事業」
を理事会提案 cf.9p

記念式典、シンポジウム、祝賀会、記念誌発行

加えて「継続的研修事業」の立ち上げ。保育の父・佐竹音次郎を顕彰する活動。

2014(H26)「保育の父・佐竹音次郎に学ぶ 講演会」をその手始めに開催 cf.10p

理事会での「講師は誰に？」との問い合わせに、県民児連の活動を通じて交流のあつた高知大学玉里教授を紹介

→社会学博士、限界集落の研究などの著書あり

竹島小学校を会場に個人的に200名を目標に取り組む→320名以上の参加 cf.11p

リーフレット『知っていますか？佐竹音次郎を』制作

音次郎「福祉のこころ」宣言 cf.添付様式

墓参、交流会、「保育の父・佐竹音次郎に学ぶ会」へと続く cf.11p

竹島小学校児童の感想文～総合学習へと発展 cf.11p

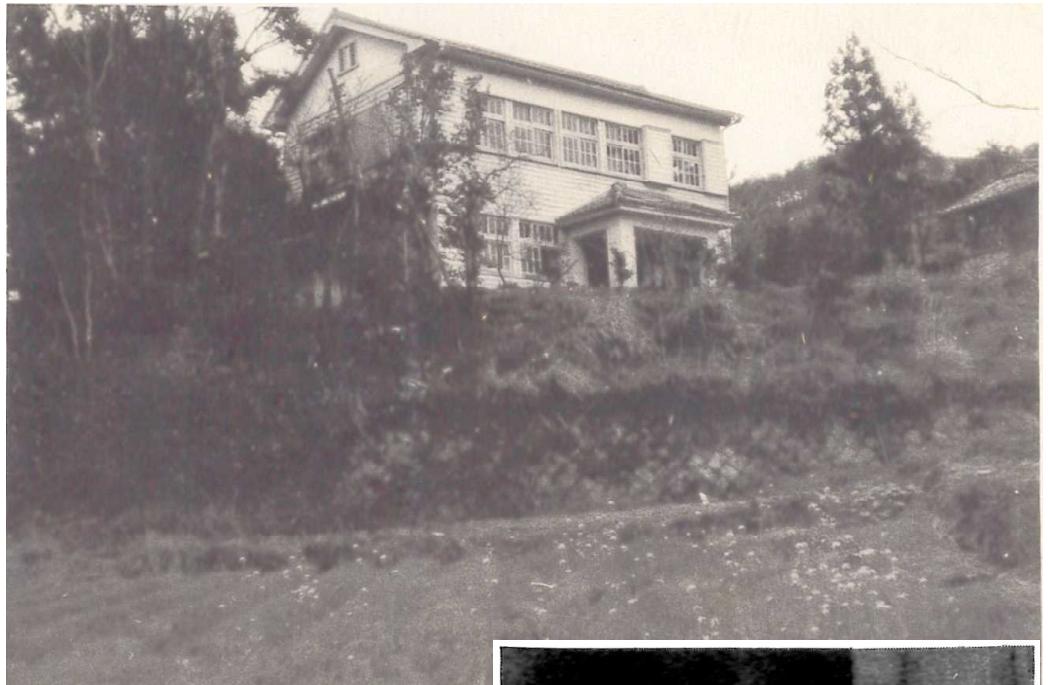
この頃、中平元竹島校長とのつながり、西内育二朗元音次郎会副会長が『竹島の偉人』パンフレットを自費制作 cf.10p,13p

2015(H27)音次郎会設立 cf.12p 栄光会理事長は監事として関わるように引き継ぐ

2016(H28)高知大学で土佐の社会事業家に学ぶ研究会が発足（玉里教授主宰） cf.12p

2017(H29)栄光会理事長退任後、音次郎会では監事から委員になってして参与し続ける

写真資料



↑
1957(昭和32年)設立当初の若草園(佐岡、東山村役場跡)

若草園設立当初の職員5人 →
(前列左:西園長、後列右:伊豆保育士)

1966(昭和41年)鎌倉保育園中村支部となる若草園

1969(昭和44年)下田に移転新築された若草園



高

井口

新

聞

1996年(平成8年)6月9日(日曜日)

中村市下田の児童福祉施設「若草園」(青木浩園長、約三十人)を経営する社会福祉法人「栄光会」(広井康延理事長)の設立記念式が八日、同園で行われ、約百三十人が出席した。七年度まで、経営母体は日本の児童福祉の先駆者とされる同市出身の佐竹音次郎(一八六四—一九四〇)に隣接し、存続が危ぶまれた

知慈善協会によって設立され、事故や災害など、何らかの理由で家族と暮らせなくなつた子供たちが共同生活している。その後、同園は昭和三十二年に高知元に移管された。

同園は昭和三十二年に高知元に移管された。社会福祉法人「鎌倉保育園」の中村支部だったが、地元の鎌倉保育園の佐竹順理事長も「少子化や高齢化で施設を取り巻く状況が変化し、中村支部の独立で、地域の子供たちとより密接にかかわることができる。波乱の歴史があつたが、今後とも温かい支援を」とはなむけの言葉を贈った。

その後、若草園の子供たちが取り組んでいる一条太鼓を披露し、新法人の船出を祝つた。

児童福祉施設「若草園」
中村市に経営法人
130人が設立祝う



ものの、四十一年、音次郎の出身地だったことを縁に、鎌倉保育園が経営を受け継いだ。その後、より地域事情に即応した対応を目指して地元で独立法人を設立することになった。

式典では青木園長と栄光会の広井理事長が経緯を説明しながらあいさつし、鎌倉保育園の佐竹順理事長も

(31) ☆☆ 地域1 2012年(平成24年)8月9日(木曜日)



発行所 高知新聞社
高知市本町3丁目2-15

幡多唯一の児童養護施設

若草園(四万十市)が創立55周年

「人を愛せる子ども」育成

県内支社局 多賀
幡多支社
電話 0880-31-1251

宿毛局 毛支
幡多支社
電話 0880-34-0151

水窓局 水支
幡多支社
電話 0880-34-0149

川原局 川支
幡多支社
電話 0880-32-0101

創立55周年を迎えた「若草園」(四万十市下田)
「幡多唯一の児童養護施設」として、55周年を迎えた。少人数が独立して生活する「小舎制」を四国で初めて導入するなど、先駆的な取り組みを進め、約500人の子どもたちを送り出してきた。関係者は「育児放棄や児童虐待など多様化する子育ての課題に応えてきた。これからも人を愛せる子どもたちを育てていきたい」と決意を新たにしている。

同園は1957年に開設し、69年に現在地へ移転。社員は「55年間1日も休むことなく、職員が子どもを愛し、育ててきた」と同会の小椋茂昭理事長。近年は地域の祭りの運営などにも参

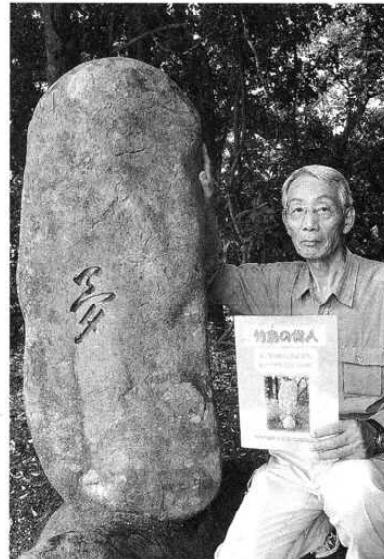
【幡多】四万十市下田が運営し、本園に加え、同市平野、具同の児童養護施設「若草園」が、創立55周年を迎えた。少人数が独立して生活する「小舎制」を四国で初めて導入するなど、先駆的な取り組みを進め、約500人の子どもたちを送り出してきた。関係者は「育児放棄や児童虐待など多様化する子育ての課題に応えてきた。これからも人を愛せる子どもたちを育てたい」と決意を新たにしている。

同園で10日午後1時から創立55周年記念式典とシンボジウム

「若草園50年の分岐点」と大舎から小舎へ」が開かれる。園生が作文朗読や歌唱を披露。四国内の児童養護施設の関係者や卒園生の路上詩人「はまじ」さんらが今後の児童養護の在り方について議論する。問い合わせは同園(0880・33・0247)へ。

あすシンポ

児童福祉に尽力 佐竹音次郎知って



冊子を作製した西内育二朗さん。隣が佐竹音次郎の石碑
(四万十市竹島)

【福岡】児童福祉に尽力した四十万市出身の保育事業家、佐竹音次郎（一八六四～一九四〇年）の功績を知つてもらおうと、同市竹島の西内育二朗さん（六五）がこのほど、顕彰冊子「竹島の偉人」を自費出版した。

音次郎は竹島の「
生まれ、18歳で小ぶ
手になった後、上吉
学校長などを経て、
なり、1894年に
川県に小児科などを
医院を開業した。
96年に身寄りのな
どもたちを預かる

農家に「保育院」も併設。やがて学校助医業は廃し、児童福祉に専念し生涯をささげた。西内さんは、静岡県警医師と「腰越」に神奈を退職して2008年に帰郷。近くの竹島神社にあつた音次郎34歳の時に「ない子」造られた「夢」の字が刻まれた石碑に関心を持った。

ち、文献や地元での聞き取りなどにて音次郎の功績や足跡を調べた。

このほど市内の小中学校に冊子を寄贈した西内さんは、「子どもたちにも彼の人生や功績などから、何かを学んでほしい」と期待している。

冊子は希望者に無料配布が可能。申し込み、問い合わせは西内さん(08800・333・192)へ。

(大廢瀨櫛)



2013(H25)小椋理事長と福留 施設長による鎌倉訪問



提案者③資料

西内育二朗元副会長（2017.4.4在任中に逝去）は竹島出身で2013年から栄光会の継続的研修事業に関わる。2015年に保育の父・佐竹音次郎に学ぶ会が発足し、副会長に就任。音次郎の歌を制作する提案をしたり、新聞の投稿欄へ寄稿したり、音次郎会の広報活動に尽力された。西内氏が2012年に自費出版された『竹島の偉人』は音次郎会発足のきっかけとなったと言っても過言ではない。

自分史制作のため竹島墓地に訪れた際、旧竹島神社に『夢』とだけ刻まれたふしきな石碑を発見したことが西内氏の音次郎研究のすべてのはじまりとなる。2008年頃から若草園通り、音次郎の資料を借りだし、地道な研究が続いた。このリーフレット完成は8pにある高知新聞記事や、四万十市広報においても紹介された。

音次郎が郷里に設置した石碑が3つある。墓石、辞世の句碑、夢の碑。この3つはその置かれた場所でひっそりと音次郎を物語っている。それは、もしかしたら福祉という地味な分野でその石自体が雄弁に音次郎を、いや、彼の「こころ」を物語っているのではないか。

音次郎が遺し、育二朗さんが遺してくれたその音次郎の魅力を、私も引き継ぎたい。

瀬戸雅弘



竹島の偉人

児童福祉に生涯を捧げた
佐竹音次郎「夢」碑の由来

竹島神社境内に建立している記念碑「夢」

お知らせ

四万十市竹島出身・郷土の偉人

最終更新：2018.5.3 Thu

保育の父・佐竹音次郎に学ぶ会

佐竹音次郎の紹介



経過報告

活動報告

入会案内／会則

事業活動計画

役員名簿

過去の講演会

メールマガジン

事務局

四万十市立中央公民館内
「保育の父・
佐竹音次郎に学ぶ会」

連絡先

〒787-0155
高知県四万十市下田2211
若草園内
TEL 0860-33-0247

お問い合わせ

「保育の父・佐竹音次郎に学ぶ会」ホームページへようこそ！

「保育の父・佐竹音次郎に学ぶ会」は
日本で初めて「保育」と言う言葉を使った、
まだ余り知られていない偉人を研究して福祉の心を学ぶ任意の団体です。

NEW!

1. 「保育の父」と「木浦の母」交流会の様子を掲載しました（→活動報告）。
2. 2018年度定期総会を開催しました（→活動報告）。
3. 2018年度の音次郎会講演会「音次郎交流会」の案内を掲載しました（↓）。



「音次郎交流会」
5月10日（木曜日）14時～
四万十市立中央公民館 1階大会議室



154年前、佐竹音次郎は現在の四万十市竹島に生まれました。
彼は明治初期、この種多地域でも新しい道を切り開こうとする人はたくさんいました。音次郎はその医療を見ながら育ち、やがて日本で初めて保育園を設立しました。現在「志賀島町 喜多嶋新傳」が復活されておりましたが、音次郎会でこの機会に「保育の父の祭典」をアピールします。お問い合わせ下さい。またお問い合わせ下さい。

○音次郎会ではあたらしい会員、メールマガジンの購読者を募集しています。

○また、ホームページでは随時「保育の父・佐竹音次郎」の情報を掲載しております。

アドレスは、「 <http://otojiro.link> 」です。「保育の父」で検索するとすぐにたどり着けます。

○入会申し込み、音次郎会へのメールはホームページから出来るようになっています。

◆今後の定例会開催日程／2018(H30)

6月 9日(土) 定例会	14～16時 公民館3階 研修室3
8月 16日(木) 没後78年墓前祭	9～12時 竹島防災センター集合／竹島墓地
10月 13日(土) 定例会	14～16時 若草園
12月 8日(土) 定例会	14～16時 竹島防災センター
2月 9日(土) 定例会	14～16時 公民館3階 研修室3

ホームページ



メール



♪ 音 次 郎 会

2018